

さらなる手術技術の向上を目指し

手術ロボットによる支援ソリューション 導入決定

京都府内で初の導入

最新 人工膝関節全置換術専用医療機器

VELYS™ ロボット支援ソリューション

この度、千春会病院では、京都府内で初となる「人工膝関節全置換術専用医療機器 VELYS™ ロボット支援ソリューション」を導入いたしました。

人工膝関節全置換術(TKA)とは、膝の痛みや変形に対する手術治療として、変性した膝関節の表面を削り、金属の部品(インプラント)に置き換える手術です。

手術にあたっては、患者さんごとに異なる骨の変形状態や痛みの原因、骨周辺の筋肉や靭帯等を総合的に判断しながら、入念なシミュレーションで調整します。その際、「VELYS™ 手術支援ロボット」を使用することで、人間の目では捉えきれないブレを高速カメラで捉え、状態を検知して正確に認識することが出来ます。手術医の制御の下で動作し、カメラに連動して動くロボットアームが、コンピューター上での手術計画に基づいて骨を削る角度や大きさ、量の補正を行い、部品の土台となる骨を形成しますので、患者さんにフィットした理想的な形にすることが出来ます。

人により異なる膝関節ですが機械で正確性を高めることで「手術したけれど痛みが残る」「違和感がある」といった術後の不具合等が解消されます。



肩・膝専門外来 原田 豪人先生コメント

赤外線を利用して患者さんの個人差に合わせ、骨の大きさ等を正確に認識することが出来ますので、人の身体の違いから生じる誤差をぴったりと患者さんに合わせる事が可能です。専門医が使用することで、さらに正確性の高い手術を行うことが出来ますので、今後は手術でしっかりと活用してまいります。

